



くすのき

第1回学校評価号

令和5年度 山ノ内小学校 学校教育目標

「自ら考え、判断し、共に生きる子どもの育成」

～自ら考える力と自ら律する力を高める教育の創造～

<第1回 学校評価 分析と考察>

山ノ内小学校では「自ら考え、判断し、共に生きる子どもの育成～自ら考える力と自ら律する力を高める教育の創造～」という学校教育目標を掲げ、日々教育活動を進めています。

さらに、授業のユニバーサルデザイン化を研究課題にして、一人一台のGIGA端末を積極的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」をキーワードにする授業改善に取り組んでいます。

1. 児童について

低学年・高学年どちらにおいても、ほとんどの項目で、80%以上の子どもが「よくできている」か「大体できている」と回答していました。特に(1)「友達と仲良く、学校生活を送る」(2)「掃除や片づけを最後までする」(3)「きまりや約束を守る」(9)「人の話をしっかりと聞く」(13)「自分や他人の命を大切にする」(14)「情報モラルやマナーを守る」で、90%以上の子どもが「よくできている」か「大体できている」と回答していました。これは、昨年度の第2回より増えています。一方で、(8)「早寝・早起き・朝ごはんを心がける」と(11)「すすんでからだを動かす」は少し低い数値となっていました。さらに、高学年は、(5)「すすんで読書に取り組む」(10)「自分の考えや思いを話す」(11)「すすんでからだを動かす」の3項目は、80%を切っており、低い数値となっていました。

この結果から、本校の子どもたちは、友達と仲良く学校生活を送ることができていると言えます。そして、それに関わる項目の数値も高くなっています。(2)は友達と協力することの大切さ、(3)や(14)はきまりやルールを守ること、(9)や(13)は友達を大切にする姿勢等、友達と仲良く学校生活を送るためにとても大切な内容です。毎月10日の「なかよしの日」の学習や「いのちの学習」の取組、道徳の学習を中心に、より友達と仲良く学校生活を送るために大切なことを考えていきます。今年度は、既に2・5年生に非行防止教室、3・4年生にスマホ・ケータイ教室、6年生に薬物乱用防止教室を実施しました。今後も外部機関との連携を適切に行っていきたいと考えています。一方で、「あまりできていない」「できていない」と回答した子どももいます。子どもたち一人一人に丁寧に寄り添いながら、指導を継続していきます。

高学年で特に低くなっていた項目は(11)「すすんでからだを動かす」で、59%でした。近年、4月の中頃から気温がとても高くなり、外で遊びにくい環境も関係しているかもしれません。コロナ禍で低下した、児童の体力の向上を図るために、体育科の学習だけでなく、委員会など学校全体の取組を通して、外で遊んで、体を動かす機会を増やしていきたいと考えています。

2. 教職員について

教職員の回答では、ほとんどの項目で80%以上が「よくできている」か「大体できている」と回答していました。しかし、(5)「すすんで読書に取り組む」は、昨年度に引き続き、今回も「あまりできていない」「できていない」と回答した教職員がいました。朝の登校後の読書時間は、読書指導を続けることで、読書習慣が身につき、すべての児童が集中して取り組むことができています。雨や暑さ等で、外で遊ぶことができない時間に、学校図書館を利用したり、教室で静かに読書をしたりできるよう、学校司書とも連携しながら、声かけを行い、読書習慣の定着をさらに図っていきます。

3. 保護者について

保護者の方の回答は、ほとんどの項目が90%以上「よくできている」か「大体できている」との回答でした。保護者の方の「よくできている」「大体できている」という回答率が高い項目は、概ね子どもたちの回答も「よくできている」「大体できている」となっています。今年度も、ご家庭での声かけが子どもたちに反映されました。(5)「すすんで読書に取り組むように働きかけている」この項目だけが昨年度と同様に低くなっています。「よくできている」か「大体できている」の回答が57%でした。進んで読書に取り組む子どもは、語彙力・表現力が養われます。引き続き、ご家庭でもお声かけをいただきますようお願いします。

令和5年度 第1回学校評価まとめ

第1回学校評価にご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を報告いたします。

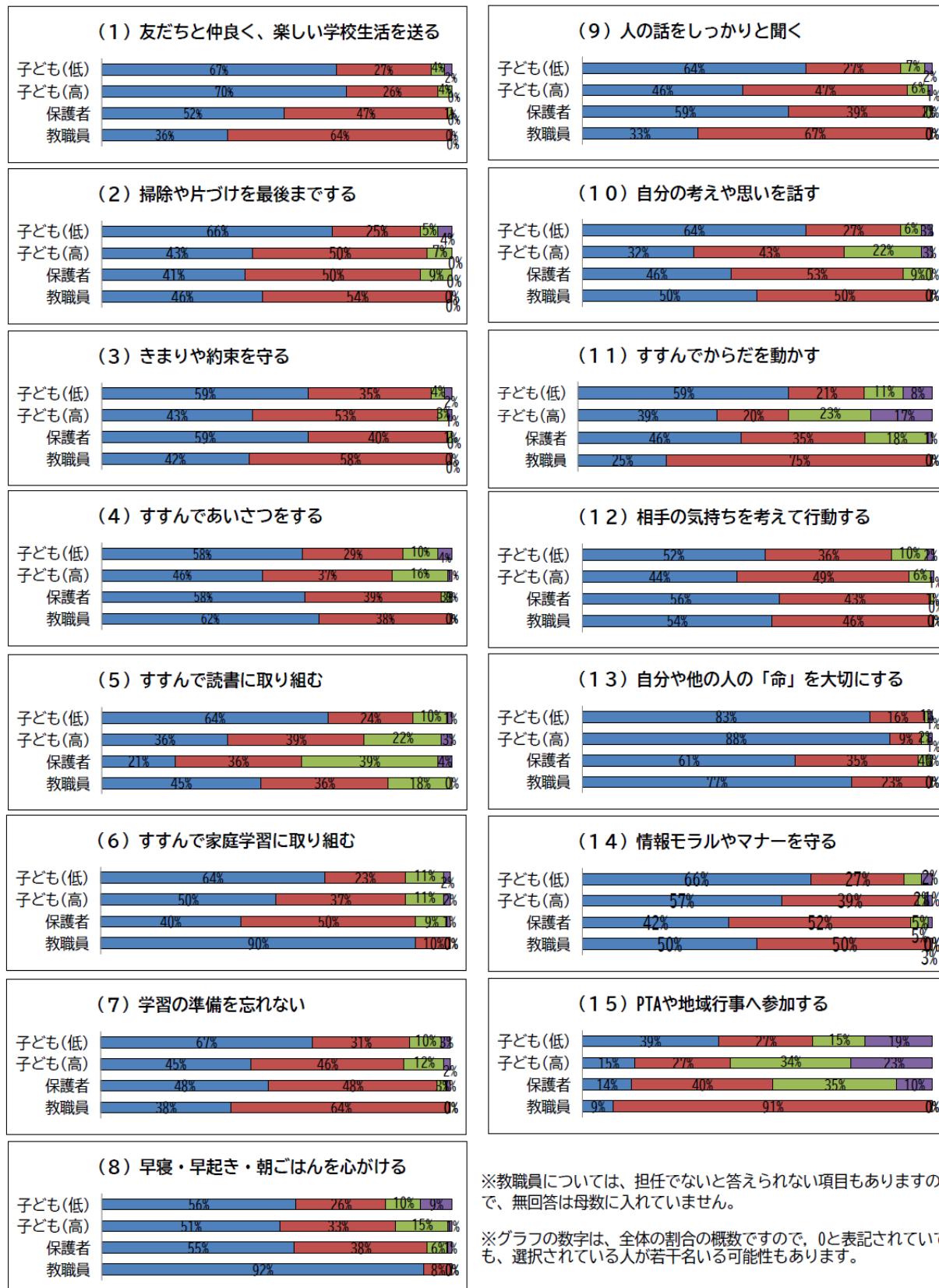
凡例(左から) Aよくできている B大体できている Cあまりできていない Dできていない

アンケートは、子ども・保護者・教職員それぞれによる自己評価です。子どもについては、自分自身の実現度を質問しています。
保護者・教職員については、自分の子どもへのかかわり方での実現度について質問しています。

(例) 児童: 友だちと仲良く楽しい学校生活を送っている。

保護者: 友だちと仲良く楽しい学校生活が送れるように働きかけている。

教職員: 友だちと仲良く楽しい学校生活が送れるよう学級づくりを進めている。



※教職員については、担任でないと答えられない項目もありますので、無回答は母数に入れていません。

※グラフの数字は、全体の割合の概数ですので、0と表記されていても、選択されている人が若干名いる可能性もあります。